第６講 【系統地理編】農林水産業，食料問題
PART６ 食料問題

Chapter１　世界の食料問題

目標　食料自給率が高いのは，一般的に先進国と発展途上国のどちらか，考えよう。
発展途上国の穀物増産のための取り組みを知ろう。

1　食料分配の不均衡

・食料の生産量は年々**増加**し，世界の総人口をまかなうには**十分**な量が生産されている。
・しかし，世界全体を見ると食料の〔　　　　　〕に著しい偏りがある。
　→**先進国**の多くでは〔　　　　　〕，**発展途上国**の中には〔　　　　　〕となる国も存在する。
・日本は食料自給率が低いが，豊かな経済力で食料を**輸入**して，**飽食**の状態となっている。

アフリカでの食料配給活動

廃棄される食品

2　先進国の飽食

・先進国では，高いレベルの農業技術を用い，食料を**大量生産**することができる。
　→一般に**先進国**は**食料自給率**が**高く**，１人１日当たりの消費カロリー量も多い。
・食料自給率が低い国でも経済レベルが高いため，食料を**輸入**することができる。
・豊かな食生活を送ることができる一方，**食品ロス**（〔　　　　　　　　　　〕）や，肥満や生活習慣病など健康への影響も問題となっている。

3　発展途上国の飢餓の問題

1. 飢餓の要因

・発展途上国は**人口増加率**が高く食料需要が急激に拡大するが，経済レベルが低いため十分な食料を〔　　　　〕することができない。

・換金しやすい〔　　　　　　　〕の生産が優先され，**自給作物**の生産が追いつかない。

・特に熱帯地域では土地がやせていることも多く，**化学肥料**や農薬などの農業技術も十分でないため，**生産性**が低い。

・干ばつや洪水などの**災害**，紛争や内戦の影響も。

2. 食料不足解消への取り組み

・発展途上国の食料不足に対し，国際的な枠組みでの支援が重要になる。

→国連の専門機関である国連食糧農業機関（〔　　　　〕）や，**非政府組織**（〔　　　　〕）による活動。

→〔　　　　　　　　　　　　〕：発展途上国の生産者に正当な対価を支払い，**経済的自立**を援助するための活動。

・収量を増やす工夫として，アフリカ向けに品種改良された**ネリカ米**の栽培が挙げられる。

・アジアやラテンアメリカでは，政府が主導した〔　　　　　　　〕によって，米や小麦などの穀物の増産に成功。

フェアトレードのマーク

ネリカ米の栽培

まとめ

先進国。大規模農業によって食料を大量に生産でき，また豊かな経済力で輸入も可能。

アフリカでのネリカ米の栽培や，アジアやラテンアメリカでの緑の革命など。

Chapter 2　日本の食料問題

目標
日本国内で，自給率の高い農畜産物を知ろう。
食料を輸入することは，環境にどのような影響を与えるか知ろう。

1　日本の食料自給率

・日本の**食料自給率**（カロリーベース）は約［　　　　］%。
　→カロリーベースでは先進国としては極めて低い。ただし，品目別では高い関税が設定されている［　　　］や，**鮮度**が重要視される**野菜**は自給率が高い。
・外国から安価な食料が流入することで**価格競争**が激化，国内生産者の減少と食料自給率のさらなる低下が懸念される。安全性の問題も指摘されている。

＜日本の食料自給率（品目別・2019 年）＞

米	小麦	野菜類	豆類	肉類
97%	16%	79%	7%	52%

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成。）

2　現在の日本の取り組み

・［　　　　　　　　　　］：地域で生産したものを，その地域で消費する取り組み。
・**植物工場**：室内で農産物を育てる工場。農業の担い手不足の解消，天候に左右されない野菜作りが可能となった。
・［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］：食の安全性を確保するため，生産や加工，流通の過程を追跡できるようにするしくみ。

植物工場

トレーサビリティ制度の表示

3　食料輸入国の責任

・多くの食料を輸入する日本は，生産国の**社会**や地球の〔　　　　　　　　〕に深く関わっている。
→輸出品生産のための**農地・農園**開発による，発展途上国の**環境破壊**。
→**長距離輸送**は環境への負担も大きい。

・〔　　　　　　　　　　　　　　〕：食料の量に，生産地から消費地までの距離を掛け合わせて算出される値。長い距離を運搬することでこの数値は大きくなり，**環境への負荷が高くなる**と考えられている。

まとめ
高い関税が設定されている米や，鮮度が重要な野菜は自給率が高い。
発展途上国の環境破壊や，長距離の輸送による環境への影響など。

第６講　PART６　確認問題

1 先進国の飽食について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 先進国は経済レベルが高いので，食料を輸入することができる。
② 技術が発達しているため食料を大量に生産することができる。
③ 先進国の多くは食料自給率は低いが，食べるものに困らない飽食の状態となっている。
④ フードロスや，肥満や生活習慣病など健康への影響が問題となっている。

2 発展途上国における飢餓の要因について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 人口増加率が高く，食料需要が拡大しているから。
② 経済レベルが低いため，外国から十分な食料を輸入することができないから。
③ 化学肥料や農薬の使用は多いものの，元来，土地生産性の低い農地が多いから。
④ 干ばつや洪水などの災害，紛争や内戦の影響を受けることも多いから。

3 食料問題を解決するために活動している国連の専門機関はどれか。

① FAO　② NGO
③ NPO　④ UNESCO

4 アフリカで，食料増産のために開発された米はどれか。

① インディカ米　② ジャバニカ米
③ ジャポニカ米　④ ネリカ米

5 カロリーベースでの日本のおよその食料自給率はどれか。

① 20%　② 40%
③ 60%　④ 80%

6 日本において約７％の品目別自給率であるものはどれか。

① 豆類　② 小麦
③ 肉類　④ 野菜

7 食料に関する現在の日本の取り組みについて述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 生産性向上のため，トレーサビリティ制度を促進している。
② 地域で生産したものをその地域で消費する地産地消が推奨されている。
③ 地産地消は，自給率の向上やフードマイレージの軽減につながる。
④ 農産物を室内で育てる植物工場の造成で，天候に左右されない野菜作りが実現した。

8 食料輸入国の責任について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① フードマイレージは，運搬の距離が短くなるほど数値が大きくなる。
② 生産国では，農産物生産のための農地・農園開発による環境破壊が起こっている。
③ 発展途上国の農産物が不当に安く取引される貿易システムを是正する必要がある。
④ 多くの食料を輸入する日本は，生産国の社会や地球の環境に深く関わっている。

第 6 講　PART6　確認問題　解答

1 解答：③　アメリカ合衆国，フランス，オーストラリアなど，**先進国の多くは食料自給率が高く**，1人1日当たりの消費カロリー量も多い。

2 解答：③　発展途上国は経済レベルが低く，農業技術が十分発展していないため，**化学肥料や農薬の使用は少ない**。それも一因となり，先進国と比較して土地生産性は低い。

3 解答：①　**FAO**（国連食糧農業機関）は，栄養水準，生活水準を向上させ，食料や農水産物の増産と流通を図ることを目的とする国連の専門機関である。本部はイタリアのローマに置かれている。

4 解答：④　アフリカで，食料増産のために開発された米は**ネリカ米**である。ネリカ米は，高収量のアジア米と病虫害に強いアフリカ米を交配されて作られた品種。

5 解答：②　**カロリーベース**での日本のおよその食料自給率は **40%**である(2020 年)。

6 解答：①　**豆類**の日本における品目別の自給率は**約 7 %**である（2019 年）。日本は，大豆をアメリカ合衆国，カナダ，ブラジルなどから輸入している。

7 解答：①　**トレーサビリティ制度**は，生産性向上のためではなく，食の安全性を確保するために促進されている。トレーサビリティ制度によって，生産や加工，流通の過程が追跡できる。

8 解答：①　食料の量に，生産地から消費地までの距離を掛け合わせて算出される値を**フードマイレージ**といい，フードマイレージは長い距離を運搬するほど数値が大きくなる。